



県政報告 県政を身近に

平成29年
2017
夏季号

Vol.24

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ご挨拶〉

平成29年6月定例県議会が7月7日に終了しました。今議会では、自民党議員団の提出した「虐待禁止条例」案をはじめ、オリンピック・パラリンピックの負担にかかる決議などが可決され、県議会が政策提案機能を存分に発揮しました。私は、本会議において総務県民生活委員長として委員会報告をさせていただきました。

引き続き、しっかりと県政のチェックと政策提案をしていきます。皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

平成29年6月定例県議会 (平成29年6月19日～7月7日)

条例 自民党議員団が提案した「虐待禁止条例」が成立

本条例の最も大きな特徴は、法律では児童虐待防止法、高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法と3つに分かれているものを本条例で一本化したことです。虐待全般を一本化した条例は、全国でも埼玉県が初めてです。

2点目は、養護者に対し、児童、高齢者及

び障害者の安全を確保する、安全配慮義務の規定を設けたこと、3点目は、虐待を受けた対象により通告等の受付窓口が異なるので、県が市町村と連携して通告等をしやすい環境を整備することとしました。さらに、施設職員などに対する虐待防止研修も義務付けました。

一般会計 2億5,281万1千円 補正予算

今回は、国の地方創生拠点整備交付金を活用した事業を実施するとともに、病害虫による農作物の育成被害を防止するための補正予算となりました。〈主な予算〉

秩父高原牧場の地域交流施設の整備

9,986万3千円



新たに県産農産物直売所や休憩施設を設置し、来場者が県産ブランド畜産物などを購入できるようにします。また、手作り体験や動物とふれあえる体験施設を充実して、畜産への一層の理解と周辺地域の振興をめざします。

〈その他の農業関連予算〉

4,920万円 再造林コスト低減技術の研究開発

寄居林業事務所に温室をつくり、カエデ、少花粉スギなどの種苗研究の体制を強化します

8,374万円 重要病害虫防除の実施

農薬による早期防除の徹底、残渣償却へ補助し農作物の生育被害を防ぎます。

条例 自動車取得税のエコカー減税の延長

平成32年燃費基準を基に対象範囲を絞り込むとともに、適応期限を平成31年3月31日まで1年延長しました。

対象車	【改正前】 軽減率	【改正後】 軽減率
電気自動車 (達成率)	非課税	非課税
平成32年度 燃費基準	+40%	80%
	+30%	
	+20%	
	+10%	
達成	60%	
平成27年度 燃費基準	+10%	40%
	+5%	20%
		軽減なし



決議 オリンピック・パラリンピックの開催経費の負担に関する決議

大会の開催経費のうち350億円(右記赤い矢印部分の差額)については、改めて立候補ファイルにもとづいて招致委員会、東京都、国の3者で負担すべきことを埼玉県議会の意思として明確に示しました。自民党県議団が提案し、賛成多数で可決されました。

〔東京都と組織委員会による試算〕 (単位:億円)

区分	組織委員会	その他		計	
		うち 東京都	うち国		
会場関係	2,000	6,350	4,950	1,400	8,350
大会関係 (輸送、セキュリティなど)	4,000	1,500	1,050	100	5,500
計	6,000	7,850	6,000	1,500	13,850

350億円の差額

自民党県議団 次なる政策提案条例の検討開始

〈自転車の安全利用促進条例の改正〉

近年は、自転車利用者が加害者になる事故が増加するとともに、被害者に対する賠償金額が高額化しています。また、保険加入率は45%と低調です。そこで、平成24年4月に施行された「自転車の安全利用促進条例」を改正して、自転車保険への加入義務付けなどを実施しようとするものです。8月14日までパブリックコメントを受け付けています。(ホームページ:自民党埼玉県支部連合会)

〈犯罪被害者救済に関するプロジェクトチームを立ち上げ〉

平成16年に犯罪被害者等基本法が国で制定されましたが、犯罪被害者に対して、県としてよりきめ細かい支援を行うために、来年2月定例県議会までに条例案を提案することをめざします。



本会議場での委員長報告(7月7日)

武内県議がテレビ番組に出演

「常任委員会だより①」 (テレビ埼玉)

～10月15日(日)10時から～

テレビ埼玉の「県議会広報番組」の委員長インタビューにおいて、武内県議が総務県民生活委員長としての抱負や取組を語ります。放映日時は、10月15日(日)10時から15分間です。ぜひ、ご覧ください!

武内まさふみ県政報告会が開催される(7月1日)

本日の話の内容

- ◆ 県議会での役割
- ◆ 一般質問＝県議会は身近です
- ◆ 県議会の働き
(議案チェック、政策提案)
- ◆ 県5か年計画の修正
- ◆ 地域交通網の整備
(動き出す新川越越生線)
- ◆ 地域活性化の新たな動き

県議7年目に入った武内県議が、ウィズもろやま(毛呂山町福祉会館)において、県政報告会を開催しました。毛呂山町、鳩山町、越生町などから400人以上の方々が参加しました。昨年度に引き続きパワーポイントを使って、県議が関わった議員提案条例や議案修正の増加をはじめ、一般質問に対する県の対応や県民相談の内容、動き出した新川越越生線、農業大学跡地を中心とした未来産業集積構想などを報告しました。

当日の発表資料の一部



県議会が加えた目標値(埼玉の成長を支える投資①)



実現に向けて大きく前進!

新川越越生線を平成33年度以降の整備路線候補として検討することを決定

5か年計画の修正

地域の産業・雇用を後押しする「ストック効果」の高い社会資本整備を重点に実施する方針を自民案で加えた。

【参加者の感想】

- ・「理解しやすい説明で、力強い未来を感じました。」
- ・「県政が身近に感じられました。課題に実現に向けて努力してください。」
- ・「横文字が入っていて意味が分からない。」など多数。

【提言】

- ・「道路の緑地帯を町民に畑として貸し出して、管理させたらどうか。」
- ・「空き家を福祉活動へ再利用したらどうか。」という有意義な提言がありました。今後の課題として取り組みます。



【要望など】 信号機の設置やバイパスの歩道部分の安全対策など、個別の要望については、それぞれ対応します。

武内まさふみの活動日誌

視察

■新彩会(自民党2期生)

●公立大学法人国際教養大学(秋田県秋田市)

同大学は、グローバル人材の育成を目的として、秋田県が2014年に設置。特徴は、英語で行われる全授業、学生の1年間海外留学の義務化、24時間365日開館の図書館、9割以上の学生の学内居住、などです。多くの企業から、学生に熱い求人視線が向けられています。



▲秋田杉をふんだんに使った図書館

●協同組合秋田県北木材センター(秋田県秋田市)

当組合では、平成16年からWOODREXのブランド名で秋田杉集成材の事業を本格化し、売り上げを伸ばしています。



▲加工を待つ秋田杉

当日は、木材の乾燥現場から生産工場内まで、全作業工程を

視察した。また、当組合は大型の製材機器を備えており、屋久島をはじめ全国各地から原木の製材・加工を委託されています。(5月17日)

●観光・まちづくり(青森県弘前市)

観光旅行業とまちづくりコンサルタントを手掛ける「たびすけ」代表 西谷雷佐氏に、ユニークな「着地型観光」旅行商品とともに、地域資源を使ったまちづくり手法を伝授してもらいました。(5月18日)



▲地元の食材などが手に入るミニ市場

■総務県民生活委員会

●あいちコミュニティ財団(名古屋)

愛知県初の市民コミュニティ財団として、県内の地域課題を「見える化」して課題解決に挑むNPOへ資金(「志金」)融資することにより、活動を支援しています。(6月5日)

●三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(三重県鈴鹿市)

本施設は、三重県が平成4年から整備した総合スポーツ施設で、サッカー、ラグビー場、国際

競技基準を満たす室内プール、飛び込みプール、雨天時も使用可能なテニスコートなどを備えています。埼玉県でも、国際基準を満たす室内プールの整備が強く求められています。(6月6日)



▲高規格の室内プール

●愛農学園高等学校(三重県伊賀市)

当校は、1963年に設立された日本唯一の私立の農業高校です。有機農業教育をはじめ、牛、豚、鶏などの畜産科があり、聖書の学びと農業実践を通じていのちを大切に育てる人の育成をめざしています。生徒は埼玉県はじめ全国各地から集まっており、全寮制で学園生活を過ごします。(6月6日)



▲木をふんだんに使った教室

●愛知県陶磁美術館(愛知県瀬戸市)

当館は、瀬戸焼の窯が残る瀬戸市にあり、国内屈指の陶磁専門博

式典等への列席

●オリンピック・パラリンピック・ラグビーワールドカップ埼玉県推進委員会

推進委員会のメンバーとして出席。(5月19日)



▲これからの取組について県から報告

●埼玉県防犯のまちづくり推進会議総会

総務県民生活委員長として出席。(6月8日)



▲議長、特別委員長とともに来賓出席

物館として、日本をはじめアジアなど世界各地のやきものの魅力を紹介しています。(6月7日)



▲展示内容が充実した展示室